

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-104	中学校	技術・家庭科 家庭分野		第1～3学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
9 開隆堂	家庭 703	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生		

## 1 編集の方針

家庭分野とは、家族家庭を中心として、人間の生活を学ぶ教科です。地域と社会（国内、国際、自然）とかかわりながら、命と暮らしを大切にすること、生活の自立について学びます。

本教科書では、教育基本法の目標を効果的に達成できるように、以下の方針のもとに編修しました。

編集方針

1

## 自立と共生をめざす教科書

1 生きる力

2 他者との共生

3 性の平等

生活的自立の意味を理解し、人とかかわり支えあう「共生」についても理解できるようにしています。

編集方針

2

## 持続可能な社会の実現に向かう教科書

1 自然との共生

2 人権尊重

3 公平・公正

一人ひとりが、世界の人びとや将来世代、また環境との関係性の中で生きていることを認識し、行動を変革できることをめざせるようにしています。

編集方針

3

## 命と暮らしを守るための教科書

1 命の尊重

2 安全・安心な社会の実現

3 生活文化

命と暮らしにかかわる教科としての特質を生かした構成にしています。

# 自立と共生をめざす教科書

## 1 生きる力—生活的自立

生活的自立の意味を理解し、それをめざして各自が実践できるよう、基礎・基本が着実に身につけられる構成にしています。

■ 2ステップで必ず身につく献立力  
献立を

- ① 食分を目で見て栄養バランスを判断する。
- ② 1日分の献立を立てる。

の2ステップで学びます。

これでよいかな？

バランスがとれたよ。

p.94「栄養バランスを目で見て判断しよう」

## 2 他者との共生

クラスメイト・家族・幼児・高齢者・障がい者(児)・在日外国人等、様々な人のかかわりの内容を掲載しています。

■ 子どもの施設の地域探索

p.53「まちに出てみよう」

■ 地域のバリアフリー

p.223「ユニバーサルデザイン」

■ 外国の人とかかわる中学生

p.58「外国の人との交流」

■ 地域で活躍する高齢者

p.261「葉っぱビジネス(徳島県)」

## 3 性の平等

男女共同参画や多様な性の事例から、共生について考えることができるようにしています。

# 持続可能な社会の実現に向かう教科書

## 1 自然との共生

環境マークを適宜、配置し、個々の学習内容と関連づけて環境保全についての意識を高められるようにしています。

### 7 持続可能な食生活

持続可能な食生活をめざして

学習の目標

- 持続可能な食生活をめざすことができる。

食べ残す理由は何ですか？

- 嫌いなものが入っているから。
- おなかがいっぱいだから。
- 足りていないから。

捨てるなんてもったいない

農林水産省の試算によれば、わたしたちは、毎日一人当たりご飯 100g

### 自然と共にある伝統的な住まい

日本の伝統的な住まいの多くは、夏の蒸し暑さに対応するため、窓や出入口など開口部を大きくして風通しをよくしたり、木や紙などを用いて湿気を吸収させたりしています。ふすまや障子は木枠に紙を張った屏で、自然の素材を活用して空気環境を調整しています。畳は草の長い葉を織り込んだ敷物を家の土台に敷いた床材です。保温性に優れています。また、季節や行事に合わせて、床の間に掛け軸、置物、花などを飾り、自然を家の中に採り入れるなどして生活を豊かにする工夫をしています。

畳とふすま・障子

障子は、竹や木製の枠に、和紙や麻紙を貼ったもので、透気性・遮熱性・保温性・美観性を備えています。

土間は、竹や木製の床に、土や石を敷いたもので、耐火性があり、夏場の湿度が低く、自然素材であるため、高層ビルにも適しています。

### 地域による住まいの特徴

北海道札幌市：新築のついでに長年や壊れた窓を交換し、断熱性能を高めています。

東京都：雪でも歩行できる屋根（雪止め）を付けたものが、雪害対策に役立っています。

徳島県美馬市：土壁の間に「うだつ」と呼ばれる火の煙が通っている。

岐阜県稲葉市：防風林によって日本海からの強い風を防いでいる。

岐阜県白川村（白川郷）：薪ストーブがある家や茅葺き屋根の家が多い。伝統的な建築様式が残っている。

沖縄県那覇市：強い日差しを遮り、涼しい室内環境を実現している。

## 2 人権尊重

これからの家庭生活や社会のあり方について考えられるように配慮する、男女平等・ノーマライゼーション・バリアフリー・ユニバーサルデザインなど、人権尊重の視点を随所に取り入れています。

### 家庭生活を支える社会のしくみ

これまで「家庭外の仕事は男性、家庭の中の仕事は女性」など、性別で役割を固定的にとらえる考えが根強くありました。このような考え方や社会の見直しに向けて、1999年に男女共同参画社会基本法が施行され、「男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会」をめざしています。

しかし、日本は国際的に見て、男性は収入労働時間が長く、家事や育児・介護などの時間が短い傾向にあります。誰もが仕事と家庭生活を大切にでき、バランスよく生活できるワーク・ライフ・バランス\*を検討していく必要があります。

\*ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）「仕事」と、育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和となり、その両方を充実させる働き方、生き方のこととします。（内閣府「政府広報オンライン」より）

memo 育児・介護休業法

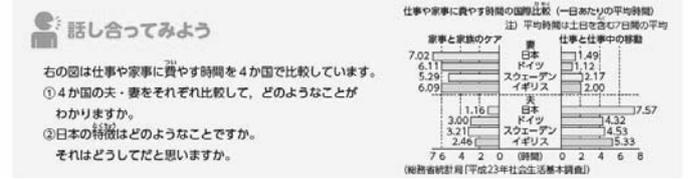
日本では1992年に育児休業法が施行され、1995年に育児・介護休業法に改正されました。この法律は男女にかかわらず労働者が育児や介護のために休業できることを定めています。

### 21 さまざまなユニバーサルデザイン

トイレ：公共のトイレでは車いす利用者やオストメイト（人工肛門や人工尿嚢こうを持つ人）等にも配慮されている。

駅の乗り降りの工夫：エレベーターとエスカレーター、階段が同じ高さに設置され、それぞれの都合に応じて利用できるようになっている。

ノンステップバス：乗降口が低くて広く、全ての人にとって乗り降りしやすい。



## 3 公平・公正

上記1、2を含んだ持続可能な社会を構築するために、その課題を理解し、主体的に行動できるよう、個々の学習内容と関連づけて、持続可能な社会の項目を設けています。

### 話し合ってみよう SDGsと家庭生活とのかわり

17のSDGsは生活の全てとかがわっています。家庭・保育・地域の生活とは特に次の目標との関連が深いです。あなたはこれからどんな取り組みをしようと思っていますか。身近なことから考えて話し合ってみよう。

1 貧困をなくそう、2 健全な食生活、3 良好な健康と福祉、4 質の高い教育をみんなに、5 ジェンダー平等を実現しよう、6 安全な水とトイレを世界中に、7 持続可能なエネルギーをみんなに、8 豊かで持続可能な経済活動をみんなと共有しよう、9 働きがいも、働き方もさあ、10 人や国の不平等をなくそう、11 住み続けられるまちづくりを、12 つくる責任、つかう責任、13 気候変動に具体的な対策を、14 海の豊かさを守ろう、15 陸の豊かさを守ろう、16 公正な社会と平和な世界を、17 パートナーシップで目標を達成しよう

### 話し合ってみよう SDGsと住生活とのかわり

住生活とSDGsは特に右の目標との関連が深くなります。あなたはどの目標に関心がありますか。身近なことから考えて話し合ってみよう。

3 つくる責任、つかう責任、6 安全な水とトイレを世界中に、7 持続可能なエネルギーをみんなに、11 住み続けられるまちづくりを、13 気候変動に具体的な対策を、14 海の豊かさを守ろう、15 陸の豊かさを守ろう

### 話し合ってみよう SDGsと食生活とのかわり

17のSDGsは生活の全てとかがわっていますが、食生活とは特に次の目標との関連が深くなります。あなたはどんな取り組みをしようと思っていますか。身近なことから考えて話し合ってみよう。

1 貧困をなくそう、2 健全な食生活、3 良好な健康と福祉、6 安全な水とトイレを世界中に、12 つくる責任、つかう責任、13 気候変動に具体的な対策を、14 海の豊かさを守ろう、15 陸の豊かさを守ろう

### 話し合ってみよう SDGsと衣生活とのかわり

17のSDGsは生活の全てとかがわっていますが、衣生活とは特に次の目標との関連が深くなります。

1 貧困をなくそう、6 安全な水とトイレを世界中に、12 つくる責任、つかう責任、13 気候変動に具体的な対策を、14 海の豊かさを守ろう、15 陸の豊かさを守ろう

あなたはどんな取り組みをしようと思っていますか。できるだけ身近なことから考えて話し合ってみよう。

# 命と暮らしを守るための教科書

## 1 命の尊重

暮らしと生命を守る教科書として、過去の災害の経験から学び、生活を見直すことができるよう、ABC各内容で関連する事例を取り上げ、巻末に特設ページを設けました。

### 災害から「いのちと生活」を守るために

被災者の暮らしのある生活スタイルを身につけよう  
あなたの家庭や地域では災害に備えた取り組みをしていますか。  
以下のことを家族に提案してみましょう。また、中学生のあなたも地域の防災訓練に参加できます。

**避難方法などについての備え**

避難方法「てんでん坊」を確認して置くこと  
避難方法「てんでん坊」を確認して置くこと。避難方法は「てんでん坊」を確認して置くこと。避難方法は「てんでん坊」を確認して置くこと。避難方法は「てんでん坊」を確認して置くこと。

避難方法「てんでん坊」を確認して置くこと  
避難方法「てんでん坊」を確認して置くこと。避難方法は「てんでん坊」を確認して置くこと。避難方法は「てんでん坊」を確認して置くこと。

避難方法「てんでん坊」を確認して置くこと  
避難方法「てんでん坊」を確認して置くこと。避難方法は「てんでん坊」を確認して置くこと。避難方法は「てんでん坊」を確認して置くこと。

避難方法「てんでん坊」を確認して置くこと  
避難方法「てんでん坊」を確認して置くこと。避難方法は「てんでん坊」を確認して置くこと。避難方法は「てんでん坊」を確認して置くこと。

## 2 安全・安心な社会の実現

安心・安全な社会を目指すための事例を積極的に取り上げています。

**16図 やってみよう**

16図 住まいの中で使われている化学物質を含むもの  
蚊取り線香 壁などの建材 壁紙、塗料、接着剤

家の中には、16図に書かれているもの以外にどんなものがありますか。探してみましょう。  
通風による自然換気のためには風の入り口と出口を設け、家具やドアなどで風の通り道をふさがず、入ってきた風が抜けるようにしましょう。また、ファンなどの機械を使って強制的に換気を行って家中の空気を入れ替えるシステムもあります。

芳香剤、タバコ、カーテン(防火)、消臭剤、芳香剤、洗淨剤、防臭剤、抗菌防臭剤、化粧品、香水、衣類の防虫剤、シャンプー・リンス、カビ取り剤、接着剤、風生剤、接着剤、風生剤、接着剤、風生剤

## 3 生活文化

衣食住の伝統文化を充実させ、さらに伝統あそびや昔の暮らし方などを取り上げることで、生活と伝統文化との深いかわりが理解でき、実践できるようにしています。

18図 あやとり



17図 かごめかごめ



## 2 対照表

教育基本法第2条の目標の達成のために、以下の点で特に編修に意を用いました。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色
教科書全体	・学習の目標、導入課題、本文と展開し、ふりかえりで自己評価する形を基本とし、問題解決学習への取り組みかたを視覚的・具体的に示しています。本文以外にも、参考や探求、発展、またイラスト・写真などで多彩な事例を示し、幅広い教養が身につくようにしています（知育 第1号）。
A 家族・家庭生活 「自分の成長と家族・家庭生活」 「幼児の生活と家族」他	・家族や近隣の人びと、学校の先生をはじめ、自分たちが多くの人に支えられていることを理解するために、多くの事例を示しています（徳育 第1号）。
A 「幼児とのかかわり」 B 食生活 「食事の役割と食習慣」	・健やかな成長のためには、国の法律・制度によって整えられた環境が必要であることを理解するための資料を充実させ、また、直接的には食事による体づくりの必要性に関する内容を充実させています（体育、食育 第1号）。
ガイダンス「生活の土台となる自立と共生」 教科書全体	・自立とはどのようなことか、まずは生徒が自分の生活を振り返って考えを表明する場面を設け、主体的な思考活動ができる場面を用意しています。 教科書全体で自立をテーマに、生活を問い直し改善できるよう、考え体験する学習を充実させています。さらに「生活の課題と実践」では、学習したことを生活に活かすための多様な課題例を示しています（自主、自律 第2号）。
A 家族・家庭生活 他 B 食生活、衣生活、住生活、C 消費生活・環境	・職業観を養い、社会に目を向けられるよう、実際に働いている方からのメッセージを各所に入れていきます（キャリア教育 第2号）
A 「自分の成長と家族・家庭生活」他 B、C 通してすべて	・家庭でも社会でも男女が協力して支える社会をめざす男女共同参画社会の重要性を示し、教科書全体にわたり、図・写真・イラストなどを中心に公平な配慮をしています（男女平等 第3号）。
ガイダンス「生活の土台となる自立と共生」 A 「自分の成長と家族・家庭生活」 B 「衣生活、住生活」他	・共生社会をテーマに、様々な人びととのかかわりあっていくことの必要性を理解し、それらの人びとと支え合い、分かち合う、これからの社会を考えられるよう、事例を充実させ、工夫しています（他との協力 第3号）。
C 「自立した消費者」 「持続可能な社会」 他	・これからの社会を生きる主体として、権利には責任が伴うことを示し、また公正な社会に向けた取り組みを随所で取り上げ、具体的に考えられる課題を工夫しています。（正義と責任 第3号）
ガイダンス「生活の見方・考え方」 A 「持続可能な家庭生活をめざして」 B 「持続可能な食生活をめざして」 「持続可能な衣生活をめざして」 「持続可能な住生活をめざして」 C 「持続可能な社会」他	・持続可能な社会をテーマに、教科書全体にわたって環境教育につながる題材を充実させ、生活する立場から生態系を含め、環境保全に寄与する態度を身につけることを目指しています（環境教育 第4号）
A 「家庭生活と地域のかかわり」 B 「安全な住まいで安心な暮らし」 資料「災害から「いのち」と生活を守るために」 他	・ABCで災害や防災などの事例を積極的に取り上げ、日頃より防災への意識を高め、生命を尊ぶ態度を身につけることを目指しています（防災教育、生命の尊重、第4号）
A 「幼児の生活と家族」 B 「日本各地の郷土料理」 「つなげよう和服の文化」 「住まいのはたらきとこちよさ」 資料「伝統を受つぎ、生活こゆす」 「世界の食べ物・衣服・住まい」 他	・伝統的な幼児の遊びや、和食・郷土料理、伝統的な民家や、和服などを数多く取り上げ、また日本各地の伝統文化の事例を充実させ、我が国の独自の文化と先人の工夫に気づき、愛着をもつとともに、日本人としての誇りが育まれるようにしました（伝統文化、郷土愛 第5号）。
A 「多様な人びとが暮らす地域」 B 「健康によい食習慣」 「目的に応じた衣服の選択」 C 「持続可能な社会」 他	・諸外国に目を向けさせる題材を豊富に取り上げ、世界の国々に関心を持ち、他国と協力して、これからの国際社会に貢献する態度を育むようにしました（国際理解 第5号）。

## 3 上記以外に特に意を用いた点や特色

特別支援教育、カラーユニバーサルデザイン、人権教育の観点で、十分な配慮をした。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-104	中学校	技術・家庭科 家庭分野		第1～3学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
9 開隆堂	家庭 703	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

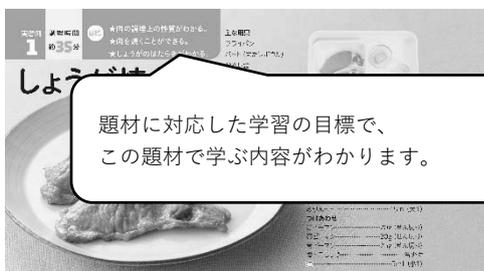
特色  
1

# 子どもの関心と実生活から出発する教科書

本教科書では、子どもの関心や実生活を学びにつなげることを意図しています。



大きな写真やイラストから、子どもの関心をひきつけ、視覚的に理解ができるようにしています。



題材に対応した学習の目標で、この題材で学ぶ内容がわかります。



実習ページなど、プロセスが大事な内容は、横流れのレイアウトを統一して採用しています。プロセスの中の写真や図版を大きく示すことで、実習のイメージも持ちやすくなります。

特色  
2

# 子どもの思考・判断・表現力が自然に身につく教科書

学習過程を通して多様な課題を設定しており、教科書に沿って学習を展開することで、アクティブ・ラーニングを実現できるようになっています。

ガイダンスで、教科書の構成を紹介しながら、学習過程がイメージできるようにしています

家庭分野のガイダンス

## 主体的・対話的で深い学びをしよう

家庭分野には、製作・実習や体験など多様なアクティブ・ラーニングの方法があり、主体的な学習が行われてきています。よりいっそうそれを質的に高める方法で進めましょう。

「生活を見つめ、学んだことを生活にいかす」ことを旨とする家庭分野では、次のようなプロセスで学習を進めます。

「主体的」「対話的」「深い学び」がどのようなことが、具体的に示されているか。

学びの進め方がわかると、取り組みやすくなる。

主体的	対話的	深い学び			
<p>自分の興味・関心、疑問を大切にす</p> <p>【わたしの興味・関心】を書いてみましょう。 【家族・家庭生活】【食生活】【衣生活】【住生活】【消費・娯楽】のそれぞれの学習のはじまりのページに、自分の興味・関心を1-2行書いてみましょう。それぞれの学習が終わったら、再度書いてみましょう。</p>	<p>言葉、手、頭を使って対話する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●人との対話 ●知識 ●技能との対話</li> <li>●ものとの対話(製作・実習・実験等)</li> <li>●ことごととの対話(調査など)</li> </ul> <p>導入の課題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①学習のはじめにある導入の課題に答えよう。</li> <li>②科学的本文の文章はわかりやすく書いています。しっかり読む習慣がつけば、図表を読む力もつきます。</li> <li>③学習の途中に、学びを深める次のような小課題があります。</li> </ol> <p>【話し合ってみよう】【やってみよう】【考えよう】【発表しよう】など</p> <p>さっと学びがもろくなくなっていきます。</p>	<p>学習を自分の言葉でふり返る</p> <p>【ふり返り】を書いてみましょう。 ○×式ではありません。1行でも自分の言葉で書いてみましょう。</p>	<p>総合的な課題に取り組み</p> <p>【生活にいかそう】(課題)に取り組みましょう。 ここでは、実生活に即した、単の各単の学習を総合する課題です。</p>	<p>学習が自分の中にいきているかを確かめる</p> <p>【学習のまとめ】次の3つの観点からまとめてみましょう。 ①基礎的知識・技能の定着を図る。 ②思考力・判断力・表現力を促す。 ③感じたことを深めて、自分の考えを書く。</p>	<p>自分で課題を発見し、課題解決に取り組む</p> <p>【生活の課題と実践】のページを参考にしましょう。 ここでは、自分で生活の課題を発見し、解決するための計画の例が冒頭に紹介されています。長い休み、一人で時間をかけて取り組むこともできます。</p>

本書での具体的な示し方

【例】p.14・15



【例】p.129・130



【ふり返り】の例 p.213・134



【学習のまとめ】の例 p.225・227・228・229・230・231・232



【生活の課題と実践】 p.265～277



特色  
3

# 科学的にとらえる目を養う教科書

安全・衛生・防災について、学習中の不慮の事故がないようにするとともに、いざというときの行動の基になる主体的な判断力と協力する態度を育てるようになっています。

調理実習例にはQ & Aがあり、科学的根拠がわかる内容を入れています。

日本で起きている災害

家庭科での安全・防災について、基本的事項を、巻末の頁にまとめています。

Q2 なぜフライパンを熱してから油を入れるの？

A2 フライパンに油の膜をつくることで、肉が焦げつきにくくなります。フッ素樹脂加工のフライパンは、油を入れずに熱すると樹脂加工が痛むので油を入れてから点火します。

特色  
4

# 伝統文化の充実

伝統的な生活文化に関連する学習項目には、「伝統」マークをつけています。  
また特設ページや、本文中でも日本の伝統文化を多数紹介しています。

**伝統文化を受けつぎ、生活にいかす**

衣食住など生活に関する伝統文化をまとめています。

本文中でも、各地域に伝わる郷土料理などの文化を資料として掲載しています。

**日本各地の郷土料理**

**完成しよう**

特色  
5

# 特設ページや資料の充実

巻末の資料やデジタルコンテンツを活用することで、より効果的な授業をすることができます。

QRマークがついている内容には動画等のデジタルコンテンツを用意しています。

**世界の食べ物・衣服・住まい**

世界の食べ物は、その国の気候や文化によって異なります。食文化は、その国の歴史や文化を伝える重要な役割を果たしています。また、食文化は、その国の伝統や習慣を伝える重要な役割を果たしています。食文化は、その国の歴史や文化を伝える重要な役割を果たしています。

調理手順 **QR**

## 1 しょうが汁をつくる



## 2 対照表

図書の構成・内容				学習指導要領の	箇所	配当時数	
大項目名	中項目名	小項目名	内容				
家庭分野のガイダンス				A(1) A,B,C	前見返し i ~ iii, 1 ~ 11	1	
A 家族・家庭生活	1 自分の成長と家族・家庭生活	①	今の自分とこれまで	A(1)	16-17	2	
		②	わたしの生活と家族・家庭	A(1)	18-19		
		2 幼児の生活と家族	③	家庭を支える社会	A(2)		20-21
			④	中学生にとっての家族	A(2)		22-25
	3 幼児とのかかわり	①	幼児のころと今の自分	A(2)	26-27	7	
		②	幼児の体の発達	A(2)	28-29		
		③	幼児の心の発達	A(2)	30-31		
		④	発達にとってのおとなの役割	A(2)	32-35		
		⑤	遊びが必要なわけ	A(2)	36-37		
		⑥	遊びを支える環境	A(2)	38-41		
		4 家庭生活と地域のかかわり	①	ふれ合い体験の前に	A(2)		42-43
	②		ドキドキワクワクふれ合い体験	A(2)	44-49		
	③		ふれ合い体験は幼児からの贈り物	A(2)	50-51		
	④		子どもの成長を支える育む地域社会	A(2)	52-55		
	5 持続可能な家庭生活	①	家庭生活と地域での活動	A(3)	56-57	5	
		②	多様な人びとが暮らす地域	A(3)	58-59		
		③	地域に暮らす高齢者	A(3)	60-61		
		④	高齢者とのかかわり	A(3)	62-63		
				持続可能な家庭生活をめざして	A,C		1
	B 衣食住の生活	1 食事の役割と食習慣	①	食事の役割	B(1)	72-73	2
②			健康によい食習慣	B(1)	74-79		
2 中学生に必要な栄養を満たす食事		①	中学生の発達と必要な栄養	B(2)	80-81	4	
		②	栄養素のはたらきと6つの基礎食品群	B(2)	82-93		
		③	献立ステップ1 栄養バランスを目で見て判断	B(2)	94-97		
3 ささまざまな食品とその選択		①	食品が食卓にのぼるまで生鮮食品の選択と保存	B(3)	96-99	5	
		②	加工食品の選択	B(3)	100-103		
		③	食品の安全と情報	B(3)	104-105		
4 日常食の調理		①	調理の計画	B(3)	106-107	13-16	
		②	おいしさと調理	B(3)	108-113		
		③	ますます好きになる肉の調理	B(3)	114-121		
		④	こんなにおいしい魚の調理	B(3)	122-129		
		⑤	好きになる野菜の調理	B(3)	130-139		
5 地域の食文化			地域の食文化	B(3)	140-145	5	
6 献立づくり			献立ステップ2 1日の献立	B(2)	146-151	2	
7 持続可能な食生活			持続可能な食生活をめざして	B(1)(2)(3),C	152-153	1	
1 目的に応じた衣服の選択		①	衣服で伝わるメッセージ	B(4)	162-163	3	
		②	自分らしくコーディネート	B(4)	164-165		
		③	つなげよう和服の文化	B(4)	166-169		
		④	上手な衣服の選択	B(4)	170-173		
2 日常着の手入れと保管	①	まかせて衣服の手入れ	B(4)	174-175	4		
	②	布の繊維に応じた手入れ	B(4)	176-179			
	③	めざそう洗濯名人	B(4)	180-181			
	④	補修や収納・保管	B(4)	182-185			
3 生活を豊かにするものの製作		布による作品で生活を演出	B(5)	186-201	7-10		
4 持続可能な衣生活		持続可能な衣生活をめざして	B(4)(5),C	202-203	1		
1 住まいのはたらきとこころよさ	①	住まいのはたらき	B(6)	208-209	2		
	②	住まいの空間	B(6)	210-213			
2 安全な住まいで安心な暮らし	①	家庭内事故への備え	B(6)	214-217	5		
	②	災害への備え	B(6)	218-221			
3 持続可能な住生活	①	持続可能な住生活をめざして	B(6),C	222-223	1		
C 消費生活・環境	1 家庭生活と消費	①	消費生活のしくみ	C(1)	230-231	1	
		②	家庭生活における収入と支出	C(1)	232-233		
	2 購入・支払いと生活情報	①	いろいろな購入方法	C(1)	234-235	2	
		②	購入前に知っておくこと—売買契約—	C(1)	236-237		
		③	いろいろな支払方法	C(1)	238-239		
	3 消費者被害と消費者の自立	④	情報を活用した上手な購入	C(1)	240-245	3	
		①	なくならない消費者被害	C(2)	246-249		
		②	消費者を支えるもの	C(2)	250-251		
	4 持続可能な社会	③	消費者の権利と責任	C(2)	252-255	2	
		①	消費行動が社会に与える影響	C(2)	256-257		
②		消費行動が環境に与える影響	C(2),A,B,C	258-263			
266	生活の課題と実践			A(4)B(7)C(3)	266-277	2	
278	学んだことを次に生かそう				278-279	0.5	
292	災害から「いのち」と生活を 守るために	日本列島の特徴と災害		B(6),A,B,C	292-299	-	